

保護者等向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表 (ルフレいなぎ児童発達支援事業所)

公表: 令和4年2月1日

事業所名 ルフレいなぎ 児童発達支援事業所

保護者等数(児童数) 46

回収数 33

割合 72 %

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	6%	0%	3%		法令に基づいたスペースです。お子さんが安心して主体的に遊べるよう、仕切りを活用し構造化する、2つのグループに分けて活動するなど工夫しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	86%	8%	0%	6%		法令に基づいた人員配置ですが、活動内容によっては人員の加配を検討してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境 ^{※1} になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94%	6%	0%	0%	活動報告の際に待機場所が駐車場なのでせまくて他の利用者の方の話が聞こえてしまう。聞かれたくない方もいるかと思いい、少し気をつけてしまう。	療育後の振り返りは他の保護者に話が聞こえないように配慮いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	94%	3%	0%	3%		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ^{※2} が作成されているか	97%	0%	0%	3%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	89%	3%	0%	8%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	97%	3%	0%	0%		
	8 活動プログラム ^{※3} が固定化しないよう工夫されているか	89%	6%	0%	6%	毎回、少しずつ違う活動をしています。	活動を繰り返し行うことで、理解の深まり、表出の向上につながることもあります。お子さんの様子に合わせて活動を提供しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	17%	6%	44%	コロナ禍なので分かりません。	2歳児親子グループは、大人との関わりをメインにしているため保育園や幼稚園のお子さんとの関わりを持つ機会は設けていません。3～5歳児グループは、保育園や幼稚園に通っている方がほとんどのため、通っている保育園や幼稚園との連携を重視しています。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97%	3%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	92%	3%	0%	6%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ^{※4} 等）が行われているか	53%	11%	6%	31%		ペアレントトレーニングは実施していませんが、勉強会（年2回）、保護者交流会（年1回）などでお子さんの育ちについて考える機会を設けています。随時希望面談も行っています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	94%	6%	0%	0%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	毎回しっかりと話を聞いて頂き、多くのアドバイスを頂けています。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	42%	28%	0%	31%	保護者会などに参加できなかったためまだよく分かりません。	今年度は保護者交流会を1回実施いたしました。また、家族でご参加いただく土曜イベントを3回実施し、交流の機会を設けました。父母の会の活動はありません。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%	3%	0%	6%	まだその状況になったことがないため分かりません。	随時希望面談を設けておりますので、何かありましたらお声掛けください。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97%	0%	0%	3%	いつも時間を作っていただき感謝しています。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	81%	6%	0%	14%		法人の会報は年4回配布しています。3～5歳児グループ利用の保護者の方には、毎月グループ療育の様子をお知らせしています。自己評価結果は毎年2月にホームページに掲載しています。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	89%	8%	0%	3%		個人情報の取り扱いについて、注意してまいります。書類は透けないクリアファイルを活用します。メール送信時は、ダブルチェックし、注意してまいります。	

保護者等向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（ルフレいなぎ児童発達支援事業所）

公表：令和4年2月1日

事業所名 ルフレいなぎ 児童発達支援事業所 保護者等数(児童数) 46 回収数 33 割合 72 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	81%	3%	0%	17%		災害時マニュアルを年に1回配布しています。防災マニュアル、緊急時の怪我、事故などに応じたマニュアルを整備しています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%	6%	0%	44%	まだ経験をしていないと思うのでよく分かりません。まだ参加したことがないため分かりません。	3～5歳児クラスでは、毎月避難訓練を実施しています。2歳児クラスは今後避難訓練を予定します。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	97%	3%	0%	0%	子どもがスタッフの皆さんを大好きな様子がいつも感じられます。とても楽しみにしており、通う意欲もとても高いです。先生が「みなやさしい」と毎回とても楽しみにしています。子どもは楽しみにしています。	
	23 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	親へのサポートもとても優しく丁寧にしてくださり感謝しております。困りごとについて迅速に対応していただいています。	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。